

## Collaborative Designer for SOLIDWORKS®の新機能

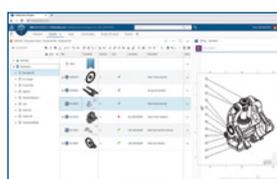


### 1 共有とマークアップ

- 社内外を問わず、SOLIDWORKS環境の誰とでもシームレスに設計を共有できます。
- 設計に直接コメントやマークアップを付けることができるため、すぐにフィードバックを得ることができます。

#### メリット

情報の受け手側は、3DEXPERIENCE®プラットフォームをインストールしなくても、ブラウザで共有ファイルにアクセスできます。

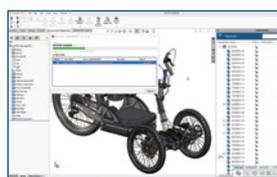


### 2 SOLIDWORKS構成部品参照のサポート

- オブジェクトの情報パネルのインスタンス タブで、構成要素の参照値を項番として3DEXPERIENCEプラットフォームにマッピングできます。
- SOLIDWORKS図面の保存時にCAD/バルーン番号を自動的に収集、表示し、3DEXPERIENCEプラットフォームの下流のアプリケーション (Bookmark Editorなど) で項番として表示することができます。

#### メリット

設計から製造までのワークフローを合理化し、3DEXPERIENCEプラットフォームのアプリケーションでSOLIDWORKS構成部品参照を正しく表示することができます。



### 3 非同期バッチ保存

- SOLIDWORKSデータを3DEXPERIENCEプラットフォームに非同期でバッチ保存を実行できるため、引き続きSOLIDWORKSで設計作業を行えます。
- 保存ダイアログの情報が細くなり、開始時間、終了時間、合計処理時間などの詳細がレポートとともに表示されるため、保存の進行状況を常に把握することができます。

#### メリット

生産性を向上させると同時に、SOLIDWORKSデータを3DEXPERIENCEプラットフォームに保存することができます。



### 4 SOLIDWORKSのリビジョンをプラットフォームのリビジョンと同期

- 3DEXPERIENCEベースのリビジョン テーブルを使用して、3DEXPERIENCEプラットフォームでリビジョンを新規作成したときに、SOLIDWORKS図面のリビジョンの履歴が自動的に追跡、更新されます。

#### メリット

3DEXPERIENCEプラットフォームのリビジョンを簡単に追跡できるため、時間を節約できます。



### 5 SOLIDWORKSファイルの場所に付けるブックマーク

- 3DEXPERIENCEプラットフォーム上のSOLIDWORKSファイルの場所にアクセスするためのブックマークを簡単に設定できます。
- チームが同じネットワークに接続していなくても、管理者は、3DEXPERIENCEプラットフォームでSOLIDWORKSリソースを一元的に管理できます。

#### メリット

ユーザーが構成部品ライブラリを共有し、より簡単にアクセスできるようになります。

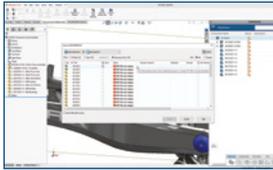


## 6 ToolboxやPart Supplyの構成部品を削除

- 3DEXPERIENCEプラットフォームにインポートされた、Part SupplyやToolboxなどの標準ライブラリのデータを削除することで、構成部品の管理やデータのクリーンアップの柔軟性を高めることができます。

### メリット

データを効率的に整理し、保存スペースを節約することができます。

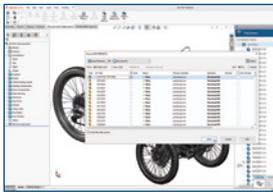


## 7 タイトルが一意でない場合に保存をブロックするオプション

- ファイルタイトルが一意でない場合に、警告を発するか、無視するか、あるいは保存をブロックするかという新しい管理設定を使って、重複を識別し、3DEXPERIENCEプラットフォームへの保存を無効にすることができます。

### メリット

組織全体のデータを3DEXPERIENCEプラットフォームで管理することで、データの一意性を確保できます。

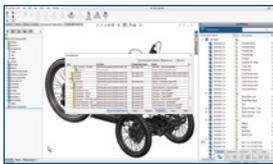


## 8 保存ダイアログの改善

- データを3DEXPERIENCEプラットフォームに保存する前に、保存ダイアログで複数の構成部品のリビジョンに関するコメントを編集できるため、設計の作成に役立てることができます。
- 3DEXPERIENCEに保存ダイアログボックスで、コラボレーションスペースをすばやく簡単に変更できます。
- 3DEXPERIENCEプラットフォームにまだ保存されていない、複数の新規作成オブジェクトのタイトルを簡単に変更できます。

### メリット

3DEXPERIENCEに保存ダイアログボックスに新機能が搭載され、柔軟性と効率性が向上しています。

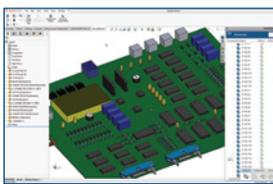


## 9 アセンブリから欠落している参照を削除

- 参照先検索ダイアログボックスをクリックするだけで、アセンブリから不足している参照すべてを簡単かつ迅速に削除できます。

### メリット

欠落した参照を含んでいるSOLIDWORKSアセンブリを3DEXPERIENCEプラットフォームに保存するプロセスを高速化することで、時間を節約できます。



## 10 クラウドでのECAD-MCADコラボレーション

- 3DEXPERIENCEプラットフォームを使用して、SOLIDWORKSのMCADユーザーと、OrCADやAllegro®のECADユーザーとの間で、共通のバーチャルツインをベースにコラボレーションできます。\*
- 3DEXPERIENCEプラットフォームはCircuitWorks™のIDX 3.0ファイル形式をサポートしているため、ECAD-MCADデータ交換を標準化できます。

### メリット

ワークフローの簡素化とECAD-MCADデータ交換の標準化により、MCADとECADでのコラボレーションがより容易になります。

\*この機能は2024年初頭に使用できるようになる予定です。

当社の3DEXPERIENCE®プラットフォームは、12業界に対応する当社ブランドのアプリケーションを強化し、業界ソリューションエクスペリエンスの豊富なポートフォリオを提供します。

Dassault システムズの3DEXPERIENCEは、人々の進歩を促進する役割を果たします。私たちは、企業と人が協力して持続可能な革新技術を生み出すための仮想環境を提供します。当社のお客様は、3DEXPERIENCEプラットフォームおよびアプリケーションで現実世界の「バーチャルツインエクスペリエンス」をすることで、自社製品の製作、製造、ライフサイクル管理の各プロセスを再定義しています。これによって、お客様はより持続可能な世界を実現するための大きな影響力を手にしています。エクスペリエンスエコノミーの長所は、それが人間を中心とした経済であるため、全ての消費者、患者、そして市民の利益になるという点です。

Dassault システムズは、150カ国以上、あらゆる規模、業種の30万社以上のお客様に価値を提供しています。より詳細な情報は、[www.3ds.com](http://www.3ds.com) (英語)、[www.3ds.com/ja](http://www.3ds.com/ja) (日本語) をご参照ください。



3DEXPERIENCE®